

五教科の学習ポイント



◎日常的な取組

- 生活記録(あゆみ)の日記を毎日書く。(習った漢字を使う。行数いっぱい)
- 毎日活字を読む。(読書をしたり、新聞を読んだりする)
- 漢字や文法は少しずつでも毎日する。(国語のワークやプリント、セミナー等)

◎テストのために

- 毎日最低1問は文章問題を解く。(テキストやテストの過去問、ワーク等)
→答え合わせのときに正答を必ず書く。(正しい答えの文の形を覚えるため)

国語の力をつけるには、少しずつでもいいので、毎日継続して学習することが大切です。努力したことが短時間で点数に結びつきにくいからです。しかし、一度力をつけると、結果が安定するのも国語という教科の特徴です。すぐに点がとれないからとあきらめず、毎日コツコツ頑張りましょう。

国語



◎数学は基礎基本の定着が一番大事です。計算問題がスラスラと解けるようになるまで、繰り返しの反復練習が一番遠そうにみえて、一番近道・堅実な方法です。

◎足し算・引き算・掛け算・割り算が完璧にできるようになりましょう。あとはその組み合わせで作られています。基礎基本の定着がレベルが高くなるほど必要です。時間を見つけては、どんどんと簡単な問題に挑戦してください。

◎余裕がある人は、少し難しい問題に時間を掛けて取り組んでください。

数学



社会は暗記する事柄が多くありますが、暗記するだけの学習では社会の力はつきません。歴史・地理・公民の学習をするなかで、現在の自分自身とのつながりを考えることが大切です。その土台としての知識を身につけるために暗記が必要になります。

- ①新聞やテレビなどから、日本や世界の出来事に興味をもとう。
- ②地理は、地図が重要です。旅行に行きたい地域など関連づけよう。
- ③歴史は、年表が重要です。過去の出来事が現在に影響しているのかを考えよう。

社会

<ノート編> ノートは、必ず持ち帰りましょう。

第1段階：その日習ったところの教科書とノートを読み、思い出しましょう。

第2段階：復習・まとめノートをつくりましょう。

☆はじめは、授業ノートを丁寧に書き直すつもりでやってみましょう。その日の授業を思い出すだけでも、効果があります。

☆説明文の中からポイントを見つけることも大事な能力(読解力)です。

<練習問題編> 基本が分かったら、力だめしです!

まちがえたところが大事なところ。それを見つけるために、問題を解きます。

第3段階：理科ノート左ページの問題は、学習した日に取り組みましょう。

第4段階：「探究の理科」は、授業で習ったところをどんどん解いていきましょう。

- ①何も見ずに解いてみましょう。
- ②わからないところは、教科書やノートを使って自分で調べましょう。
- ③調べてわかったら、自分でわかった問題と区別するために印をつけましょう。
- ④どうしてもわからない問題は、解答を見て、色ペンで区別して解答します。
- ⑤①→②→③→④を繰り返し、分からなかった問題を何回もやり直す。

「どうやって解こうか?」「どう考えればいいのか?」「どの法則を使おうか?」と考えることが、「考える力」を育てます。



理科



①予習として、教科書の新出単語をノートに書いておく。

②パートが1つ終了する度に実施される単語テストで満点をとることを目指して、単語を覚える。

③その日のうちに習った部分のワークをする。(まちがった箇所は必ず見直し、何度も解く。)

④ノートを見直し、基本文型をしっかり覚えよう。

(文のパターンや語順を覚えることができれば、並び替え問題はバッチリ)

⑤本文の音読をする。(3~5回程度)

⑥週末に出される長文読解の宿題を必ずする。

(3年生対象：指示された時間内にできるだけ、正確に内容を把握する練習をする。)

英語